

## 茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業に関する説明会 質疑応答議事

日時：平成28年9月6日（火）18時30分～20時20分

場所：浜須賀会館

出席者：来場者 133名

神奈川県 財産経営課 星グループリーダー、瀬尾副主幹、熊丸主査

茅ヶ崎市 秋元企画部長、若林企画経営課長、菊地課長補佐、隅田主任

資料：茅ヶ崎ゴルフ場の利活用基本方針

茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業に係る事業者募集の概要

茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業の優先交渉権者を選定しました。

### ●質疑応答

（松が丘：男性）

確認したいことが3点ある。1点目の確認事項は防火対策で、全体として「災害に強い安全安心なまちづくり」とあるが、ゴルフ場の跡地が放置されたとき、一番怖いのは放火の危険だと考えている。実施計画の策定が来年から始まり、実際に着工するまで3年や4年はかかると思う。その間に、周辺の地域は住宅が密集する過密地帯という中で、防火管理をはじめとした土地の管理をどう考えているのか。

2点目は、延焼火災からの避難空間、広域避難場所についてである。現在のゴルフ場は約19万9,000㎡が近隣住民の広域避難場所として指定されているということだが、資料によると、6万人の場所を確保するには最低6万㎡以上とされており、人口は変わらないのに、現状の19万9,000㎡の約3分の1にすぎない。あの地域一帯の住民にとって安全安心な広域避難場所が確保できるのか。最悪の場合、住民に被害が及ぶことがないか確認したい。

3点目は、同じ資料の最後に、2020年の東京オリンピック等の関連事業の提案ということが書いてある。提案によると恒久的な施設を作ることを想定しているようだが、東京オリンピック等の施設はあくまで仮設的なものではないのか。その点が、矛盾しない計画になるのか。例えば、ゴルフ場のクラブハウスを活用するのか。また、ゴルフ場の管理がきちんと安全に引き継がれるのかどうか、お聞きしたい。

（県）

募集要項にも記載しておりますが、平成29年度以降は、原則として優先交渉権者が管理することを考えています。基本協定の締結に係る調整の中で事業者とも協議をしていきます。

2点目の広域避難場所については、募集要項の中では6万人分の広域避難場所を確保すること、1人2㎡で6万人分なので原則12万㎡の広域避難場所の確保をすることについて記載しています。その12万㎡については、ゴルフ場の敷地だけでなく、ゴルフ場以外の敷地も含めて提案が可能なものとなっています。それに対して、事業者からは募集要項をクリアする12万㎡以上の提案がありました。

オリンピック・パラリンピックの関係での管理の引き継ぎですが、平成29年度以降の暫定利用について優先交渉権者が担う意向であるため、引き継ぎはうまくいくと考え

ています。

(松が丘：男性)

資料の最後のページに地図があるが、県有地が何%ぐらいあるのか分からない。新聞報道によると、公共6割、民間4割と報道されていた。民間の持っている4割は商業施設になっても仕方ないが、土地の6割は行政が持っているのだから、6割は公共的なものに残してほしいと考えている。どこが公共でどこが民間の土地かは言えないと思うが、公共的な利用の割合を維持することが、市民の理解を得るための有効な考えではないか。

県有地については売却可能と書いてあるが、どこに何%あるかが分からない。全体の何%か言わないと情報不足だと思う。

(県)

事業者募集自体は県と茅ヶ崎協同で行いましたが、募集要項の作成にあたっては、広域避難場所の確保など、様々な必須条件について茅ヶ崎市の意見を踏まえて設定しています。公園用地は、募集概要の必須事項の中で、4ha以上の公園用地を県有地において確保することを想定しております。現在は6割、4割ですが、土地の所有がどうなるかについては、今後実施計画を策定する中で整理していきます。

(市)

先ほど説明した「茅ヶ崎ゴルフ場の利活用基本方針」に記載がありますが、敷地全体の面積が約19万9,183㎡、約20haとなります。神奈川県が現在11万9,596㎡、約12ha、茅ヶ崎協同が7万5,674㎡、茅ヶ崎市の道路敷き、水路敷きが約4,000㎡です。また現在の土地でいくと、ゴルフ場の北側が茅ヶ崎協同所有地、その南側の砂防林に面しているところが県有地となっています。しかしながら、今後の土地利用を図る際、区画整理、開発事業などの手法が考えられる中で、神奈川県と茅ヶ崎協同の間で権利関係を整理する手法もございます。今後、4者で実施計画を策定するにあたって、皆様のご意見も伺いながら進めていくことといたします。

(白浜町：男性)

今回の説明会では優先交渉権者が決まったということの説明があったが、内容としては決して満足していない。これで決まったから、このまま進めるというものなのか。神奈川県と茅ヶ崎市は、県民・市民ファーストではないのか。県議会においても、ゴルフ場を継続できないかという意見も議員さんから出ている。募集要項を見ると、ゴルフ場を締め出すような形になっている。7者からゴルフ場の提案があって、3者は大手の不動産でしっかりした経営をしているという議論をしているのに、どうしてそういうところが締め出されるのか。選定過程の情報が不透明に感じる。このまま進めていくことについて綿足は反対である。現時点は、協定締結の前という県の方の説明を聞いてすこし安心したが、我々が認めていない中で、協定を締結してもらっては困る。

(県)

今後の進め方ですが、現時点では、あくまでも優先交渉権者を選定したという段階

です。今後、県、茅ヶ崎市、茅ヶ崎協同、事業者の4者で、地元の皆様に説明をしながら実施計画を作っていくたいと考えています。策定の調整には、相応の時間がかかると考えています。

(白浜町：男性)

優先交渉権者が決ったということであるが、去年1年間かけてパブリックコメントや意見交換会で400件近くの見解が出ている。この中で、公園・緑の設置、広域避難場所の確保などの視点からゴルフ場の継続の要望は9割程度あったと思う。一方で宅地開発と商業施設は不要という意見もあったはずである。そのような経緯の中で、どうしてこの内容が優先交渉権になるのか。宅地開発と商業施設の整備はしない方向でいくべきではないか。

(県)

今回、募集要項の策定にあたっては、基本方針の段階でパブリックコメントにより意見もいただき、また茅ヶ崎市からも大規模な住宅、大規模な商業施設は必要としない旨の見解がありましたので、評価においては減点評価事項としています。その条件の中で提案いただいたものです。

(東海岸：男性)

これは白紙撤回できないのか。なぜかという、市が設置した134号線の有識者会議は違法という結論が出ている。諸々のパブリックコメントなどの手続きは全部無効にならないのか。

2点目は、この住民説明会そのものが情報隠しではないのか。何で情報隠しをする必要があるのか。東海岸の人は知っているのか。新聞を取らない人はタウン誌でも分からない。どういう情報公開をしたのか。今日の説明会も友達に聞かなければ分からなかった。皆、他の市民団体のチラシを見て来たのではないのか。県や市の情報で来ている人が何人いるのか。だから白紙撤回ではないのか。皆が知らないうちにやって、一部の人が意見を言うのではないのか。市全体のことを市や県が知らせないで、一部で進めるのか。今だって、火災で皆が避難できるか心配している。東海岸の人はあそこに避難できるのか。津波だって、来るか来ないかあいまいなことを散々言っておいて、今は来るって言っているのではないのか。避難タワーを作るのなら、他の地域はどうなのか。第一中学校の方、汐見台の方。そんなに危ないところなら作らなければよい、今のままでよいだろう。広域避難場所だってそうではないのか。いっぱいになればもう終わりという説明をしている。だから今以上の空間を確保しなければ、しょうがないじゃないか。市のミスリードがいっぱいある。市長自身が、議会だより「ホテルと防災を兼ね備えて」とホテルを作るようなことを書いている。両立できるのか。決まる前からそういうことを言っているのはミスリードではないのか。基本方針は何でもできるように書いてあるが、こんなものは基本方針ではない。市の方針はどこにあるのか。白紙から考えなければだめではないか。違法な情報を流したり、ミスリードしたり、現状が不安なので、今のまま残すか、公園化する以外にないのではないのか。そういうことを十分に説明してから一歩先に進むべきである。地元の回覧は皆見ていると思うが、分かりにくい説明が入っている。今の説明を聞いても分からない。議会

だよりと今の説明を合わせて聞くと余計に分からない。何でも変えられるように言っておいて、白紙撤回しないで今のままやっていくのでしょうか。何でも基本計画があって、実施計画は概ねそのとおりにいく。茅ヶ崎市の市庁舎を作るときだって、基本設計から実施設計でどれだけ変わったのか説明しろと言ったら、ほとんど同じだった。変わる、変わると言ってごまかすのではないのか。怒りを感じる。今、ここに東海岸の人は来ているのか。あそこは避難場所なのに関係ないのか。公園を残すにしても、全域にするべきである。

(男性)

これが始まる前に市と県の担当者に話をしたが、スタートがおかしいと思う。

(男性)

副市長は今度の議会でも情報公開するようなことを言っていた。

(市)

この説明会の周知については、今回は優先交渉権者が決まったので、まず地元の方を中心にご説明する機会を作りたいということで開催しています。回覧については、地元の浜須賀区の自治会の皆様に協力してもらい、住民説明会のチラシを回覧しました。また、9月1日付の広報紙や市のホームページで周知を行っております。しかしもっと広いエリアで回覧、周知すべきだという意見もいただいていることはたしかです。今後は、具体的な検討をしたうえで、広いエリアでの周知した中で、内容を説明する機会を設けていきたいと考えています。

(市)

白紙撤回とのご意見ですが、昨年、基本方針策定時もそのようなご意見をいただきました。これまでの経過としては、まず観光日本からゴルフ場を撤退したいとの話がありました。茅ヶ崎市としては、広域避難場所ということもあり、存続の要望を観光日本や神奈川県にしてきたところです。しかし、どうしてもゴルフ場存続はできないという中では、他の土地利用になるにしても、神奈川県所有地が6割を占める状況で、行政として土地の利活用を考えてほしいということは伝えてきております。また、茅ヶ崎市としても、反対という方がいることから、しっかりと話ができるよう意見交換会等も開催してきました。意見交換会は4回程度実施し、それを踏まえて利活用の基本方針を策定しました。意見交換会やパブリックコメントの中でも、広域避難場所、緑を守ってほしいという意見が大多数を占めていたということもあり、公園、広域避難場所の確保をしなければ、茅ヶ崎市としても認められないということは協議の中で進言し、今回の事業募集に至ったものです。そして先月、事業者が決まったことが発表され、その旨を皆様にいち早く説明させていただくということでこの場を設定しました。この計画が決まったわけではありません。資料に事業者が提案した内容のイメージがありますが、そこに記載されているような提案がありました。今後、しっかりと皆様へのご説明や意見交換を行い、計画に反映させながら、ご理解をさせていただくことを考えています。また、これはあくまでも事業者の提案です。内容は、市も含めてしっかりと検証していきたいと思っております。その一方で、今回の広域避難場所は6万人の収容となっているが、避難する人の対象エリアは、北は幸町の駅前から、藤沢市境の浜竹など、相当広範囲の区域となっております。この区域を定めたのは昭和40

年代の住宅などが立ち並んでいない時代です。そのような中で、広域避難場所のあり方もしっかりと議論する必要があります。浜竹1丁目や幸町の方々はゴルフ場まで遠すぎて避難できないのではないかという意見もあがっている中で、今後は、避難経路も含めて、市としても並行して避難場所の考え方を示し、事業に反映していく考えです。

(男性)

そこをしっかりとしてほしい。

(浜須賀：男性)

説明を聞いていて、様々な検討事項があることがわかった。そのようなことを丁寧に情報提供していかなければならないと思う。好意的に考えたら、これから説明を丁寧にしてもらえるものと理解する。ただ、この資料で一番気になったのは、「茅ヶ崎ゴルフ場活用事業の優先交渉権者を選定しました。」という資料の最後に「今後のスケジュール」とあるが、基本協定の締結、その次に住民説明会、その後は、平成29年以降となっているが、もっと説明の機会を設ける必要がある。皆さんの意見をどんどん聞いて答えていくべきである。資料の中にその部分が抜けていると、何か仕掛けがあるのではないかと感じるものである。これは好意的に考えて、皆さん方がそこまで考えが及ばなかったと理解するが、これから事業の検討や説明をして、もし長引いた場合、計画をやめてしまうということにはならないか。地主が2者いる中で、様々な要素で長引いた場合に、どちらかが計画に参加しないということになると、これは我々にとっても重大な問題である。事業が立ち行かなくなり、しばらく置いておこうとなると困るので、そんなことにならないようにしてもらいたい。

(市)

まず、情報については、これからの事業がスタートした中で、神奈川県としっかりとやっていきたいと思えます。また、住民説明会についても神奈川県の記者発表を受けて、皆様にどういう概要で決まったか、今後こういうスケジュールで進めていくか、中身についても今後、皆さんとしっかりと議論をさせていただきながら計画を作っていくたいということをいち早く説明するのが今回の目的です。この概要のイメージだけではなかなかよく分からないというのは、その通りだと思います。今後、説明会ではなく、情報交換会として、皆様にしっかりと具体的なものをお示ししながら、今後は事業者も含めて、皆様にご意見をいただきたいと考えています。

(菱沼海岸：男性)

個人的にはゴルフ場の存続を望んでいたが、結果としてゴルフ場運営会社が撤退する状況になったと聞いた。神奈川県の方に聞きたいのだが、ゴルフ場運営会社に対する借地料として、確か倍の2億円以上でないと貸せないという条件があったため、ゴルフ場運営会社が撤退せざるを得なかったと個人的には認識している。それは事実なのか。

2番目に、提案ではゾーニングがされているが、もう少し詳細な計画を地元に提示するのは大体いつ頃になるのか。

3点目は要望を兼ねてだが、ラチエン通りから白浜町、鉄砲通りに向かうところは、大変道路が狭い。最近非常に住宅開発が進んでいるので、ただでさえ車の混雑に直面している状況である。提案の中身を見ても、ホテルやスポーツ施設、住宅があったりする。やはり一番の問題はアクセス、道路の問題でないかと思う。134号線から入っても、そこが渋滞すれば、利用者はどうしても裏側に入ってくる。現状、東海岸、白浜町、浜須賀を含めて、鉄砲通りはこれ以上広げようがない中で、相当アクセスについては検討を加えていただいて、住民のコンセンサスを絶対に得ていただきたい。

(県)

まず、ゴルフ場の借地料についてですが、県有地を貸し付ける場合、減免をしないというのが原則です。ただし、茅ヶ崎ゴルフ場については、昭和32年からの経過を加味して、公平性の問題がある中ですが、ずっと減免を継続してきたものです。新たな事業者に貸し付ける場合には、なぜ減免をするのかという理由付けも必要になり、公平に負担していただかなければならないという考え方があります。その中で、県としては、正規貸付料でゴルフ場を継続できる事業者があれば、そのようなことも考えられるのですが、昨年の4月に実施しましたアイデア募集でも7者から提案があった中においては、正規貸付料をいただけるという提案はありませんでした。今回の募集要項の中でも、ゴルフ場を継続する提案は可能として、その中で提案をいただきましたが、県が設定した予定価格に至らなかったということ踏まえるとゴルフ場の継続はなかなか厳しいという状況であると考えています。

(市)

ゾーニングをもう少し詳細に示せないか、また、詳細な計画の公表はいつ頃になるのかという点ですが、今後、茅ヶ崎市、神奈川県、茅ヶ崎協同、事業者の4者で、どのように皆さんに分かりやすくご理解をいただくか、内部でまず検討していきたいと考えています。

いつ頃になるのかという点ですが、市も、まだ事業者とほとんど会ったことのない状態です。まずは内部でしっかり今後のスケジュールを協議していきたいと考えています。先ほど情報公開のことでご意見をいただきましたが、今後は、事前にしっかりと周知をしていきます。

3点目の交通問題についてですが、先ほど申し上げたように、広域避難場所や緑、交通問題は大変重要な問題だと認識しています。当該地周辺は、海に近く良好な環境ですが、どうしてもアクセス性、交通については少し弱いところがあります。20haの土地でありますので、簡単に開発するわけにはいきません。神奈川県警、交通管理者、道路管理者、公共交通事業者としっかり協議をして、アクセスについても課題を解決していきたいと考えています。

(東海岸南：男性)

これは住民に配慮した提案だと書かれているが、配慮が見られない。騒音対策は、事業者とのQ&Aでは、防音壁を作ってよいということになっているが、この提案ではどのような防音対策があるか分からないので、それをまず教えてほしい。

それから、広域避難場所については、海岸側の砂防林も入っている。選定委員の方

は全員現地を見たのか。見ないで評価するのであれば、非常に失礼な話である。あそこには入ることができない。どうしてこれを広域避難場所として指定するのか。広域避難場所の指定は茅ヶ崎市である。市は選定委員会で認めたということなのか。

それから、ゴルフ場内は既にかかなりの部分が広域避難場所になっている。例えば住宅から300m離れなければならないということになっているので、全部緑にするというのはおかしいのではないか。ほとんど住民のことを考えていない。

最後ですが、県の安全基準は昭和40年代の古いもので、それから事情が変わったというのだけれども、その頃は人があまりいなかった。それは、人が多くなったということである。人が多くなったということは、ますます広域避難場所が必要になるので、基準をもっと強化しなければならないと思う。開発のために安全基準を緩和するというのは、逆行しているのではないか。

(県)

騒音対策については、134号からの騒音が懸念されますので、騒音が茅ヶ崎ゴルフ場の敷地内に来ないように遮音壁を設置することは可能かという質問がありました。それに対して、県としては設置する予定はないと回答させていただいております。今回の利活用について、遮音壁を茅ヶ崎ゴルフ場との境に設置するという予定はありません。

(東海岸南：男性)

それはよいと言ったのでしょうか。県はやらないけれど、事業者がやるのでしょうか。

(県)

今後、実施計画を詰めていく中で、事業者からそういう提案があれば、協議可能と考えています。

(東海岸南：男性)

あそこに長い防音壁を設置すると、景観を阻害する。それはやめてもらいたい。

(市)

今、イメージ図での議論になっておりますが、今のお話も含めて、これから対応していかなければならない課題です。砂防林の話もそうですが、事業者の提案については、課題も当然あります。私も茅ヶ崎に住んでいるので、砂防林の状況は分かります。それからゴルフ場の北側には相当木が生えているが、避難場所といっても中に入れる状況ではありません。これからしっかりと計画を立てて、市の方向性をきちんと示してやっていきたいと考えています。資料の評価委員会の主な意見の共通意見として、今後、事業が決まったとしても、広域避難場所の確保、津波浸水の拡大防止、クラスターの拡大防止などにより防災対策に一層努めることという条件を付けさせていただいた。避難場所などは重要な問題になるが、皆様にご理解をいただいた中で、神奈川県を事業を進める形にしたいと思っております。今回はあくまでもイメージ図なので、これからどのようにお見せするのか、議論をしていきます。今日は事業者が決まったことをお知らせし、こういう方向で進めていくということを説明する機会として、ご理解いただければ幸いです。

(男性)

しっかりとといっても、行政の説明が逆行している。どうやってしっかり協議してい

くのか。

(男性)

この前、市役所の人にも防災の話をしたけれども、この中に津波を経験した人はいるか。過去、この近所は津波がほとんど来ていない。地面を掘れば分かる。問題点は富士山の火山灰。火山灰は2回来ている。一つの厚みは13cmぐらい。さらに砂が9cmぐらい。防災は、地震や津波ではなくて、まず、富士山の火山灰を考えてほしい。おそらく初めて聞いたと思う。穴を掘れば分かる。

(常磐町：女性)

2点お伺いしたい。この説明会のチラシでは、「神奈川県、茅ヶ崎協同(株)、茅ヶ崎市から皆様に説明させていただきます」と書いてある。今日、茅ヶ崎協同に質問があったのだが、何で今日は参加していないのか。小池都知事も都民ファースト、説明責任ということを盛んに言っているが、どうも茅ヶ崎協同は説明責任から逃げ回っている気がする。今日、何で同席していないのか、その理由を伺いたい。

もう一点は鉄砲通りだが、今後、柳島スポーツ公園と道の駅を茅ヶ崎市が同時に整備する。そうすると、下りから右折ではほぼ入れないため、鉄砲通りに抜け道として車が入ってくると思う。さらに、西浜駐車場の開発は南湖中央に、それから浜見平にモールができる。それから茅ヶ崎海岸の複合施設、もう全て鉄砲通りである。これは完全にパンクすると思う。それから市が自転車プランという観光客に鉄砲通りを走らせる計画を作っている。これはもうでたらめ、主婦が自転車で通行しているが、そういった生活環境が一気に破壊されると思う。道が細いのでちょっとしたことで大渋滞する。そうすると、救急車や消防車は来られない。そういった生活というものを全然考えていないと思う。なぜかという県の方は地元に住んでいないし、事業者も東京の企業であろう。そういうことをどう考えているのか。

(市)

今日は茅ヶ崎協同が参加しておりませんが、事業者決定に関しては神奈川県にある程度任せていることから本日は欠席となっております。今後、市民の方々との意見交換の際には、出席してもらおう方向で考えています。それから、交通の話については、今、色々な事業が134号線を中心に動いているところです。交通問題は市としても課題だと考えており、ゴルフ場の交通アクセスの問題だけではなく、線で、どのように考えていかなければならないか、茅ヶ崎警察署、神奈川県警、道路管理者、134号線を管理しています神奈川県等と、今後具体的な施設ができたときにどう対処していくか、協議をし、今後お示しできる段階においてご説明をしていきます。

(東海岸：男性)

皆さんも非常に懸念していることであるが、100歩譲ってこの計画を進めるとして、将来、経済的に本当にこのプランが成り立っていくのか。30年の定期借地という条件があったが、宿泊施設をオリンピックに向けて作るのはいい、スポーツ施設もよい。柳島スポーツ公園の陸上競技場もあの形で存続していけるのか、本当に経済的にやっっていけるのか、非常に疑問である。宿泊施設ができたとして、あの潰れたパシフィッ

クホテルのすぐ近くだと思う。オリンピックはよいとしても、このような地の利の悪いところに作って客を呼べるのか、非常に懸念している。作ったのはよいにしても、事業がだめになる可能性がある。戸建住宅もありますが、ここに戸建住宅を作るとは、非常に防災上、特にクラスター火災という観点からは問題だと思う。集合住宅を作って本当に売れるのか、集合住宅を作るとき、近隣の小中学校の子ども達の数を考えているのか。こういう非常に複雑な問題がたくさんあるので、安易にプランを進めることはせずに、本当に一からやり直すこともあわせて考えていただきたい。経済的に将来どうなるのかという見通しまで、市民に逐次公表しながら話を進めていただきたい。

(県)

特にホテルの事業性の心配をされていると思いますが、これまで事業者とのアイデア募集や対話を実施しました。その中で宿泊施設は夏はよくても冬はどうするのかという心配はありました。そのようなことを踏まえて提案されているのだと思います。提案をいただいて、私どももまだ詳細を伺っていないので、今後4者で協議する中で、どういうプランで30年運営していくのか、確認していきます。今後、住民説明会の中でご説明できればと考えています。

(菱沼海岸：男性)

先ほどの話と共通するが、今日いただいた資料を見ると、県は津波対策の施設を作る。隣の民有地の茅ヶ崎協同は戸建住宅を建てる。同じところで、片方は津波が来るので集合住宅を建て、片方は津波が来ないので戸建住宅を建てる。3者協議で色々煮詰めたようだが、津波に対しては色々と言がある。千年来ないという説もあるし、30年で5%の関東大震災級が来るという説もある。我々が学者と直接話すことはできないので、茅ヶ崎市としてこういう想定の下で諸施策を考えるという一つの共通見解を示していただきたい。浸水の施設の計画がない方が安心できるが、やはり津波の浸水でそういう施設を作らなければならないのか。300戸の戸建住宅、集合住宅を建てるのは何なのか。要するに、津波に対する茅ヶ崎市の指針を示してもらいたい。地震が来たとき、火災が心配なので海岸の方に向かって、ゴルフ場に避難し、ちょっと経ったら、津波の心配があるからすぐ海岸から離れてとなって、せっかく広域避難場所に逃げたのに今後は山に向かって逃げなければならない。そんな器用なことにはできない。要するに津波に対する一つの考え方をぜひ示していただきたい。

先ほど話もあったが、今までもゴルフ場は広域避難場所になっている。ゴルフ場に一番近い家との境界は防球ネットである。ということは、ゴルフの球は外に出ないが、人間も入れない。それで何十年と経過している。ただ、一つ救われるのは、そのネットの周りに、樹木がある。人間は入りにくい、放射熱を防ぐ役割を果たしている。今度の計画を見ると、30mの緑地帯以外の木は全部伐採すると思うのだが、そうした場合、放射熱を防ぐものはどうなるのかという懸念を持っている。要は、津波に対してこういう想定の下で今後進めていく。想定ですから、それ以上のことはしようがないと思う。津波に対しての市の統一見解をぜひ出していただきたい。

(市)

今のお話は大変重要だと思います。まず津波については、新しく発表された津波の浸水予想図が後ろの壁に貼ってあるので、お帰りの際に見ていただきたいと思います。今回の事業提案の中では、「津波避難施設」と書いてあるが、避難タワーを作るという意味ではありません。未病センター、リハビリセンターなどを建てる際に、そこに逃げ込めるような協定を締結しておく。そのような避難できるようなスペースを取ってほしいというものです。

またこれは事業者の提案ですので、これからゆっくり話を聞かなければ分かりませんが、ヘリの離着陸場の設置、防災拠点の設置と書いてあります。広域避難をするときに、他市町村、他県から来た場合、茅ヶ崎に救助に向かうには、陸上では国道134号線、それから国道1号線、新湘南バイパス等があります。この134号線を例えば防災時の物資の拠点にしていこうという提案のようでございます。今後、そのような点についても、しっかりお見せして議論していければと考えています。

(松が丘：男性)

私の考えはゴルフ場をそのまま残していただきたい。去年も、市の主催でこういう集まりがあったが、そのときも圧倒的多数でゴルフ場として残しましょうという話だったと思う。それにもかかわらず、色々なものが含まれた提案になっているが、何でこうなるのか。圧倒的多数がゴルフ場を残してくれ、しかも7法人がゴルフ場でやってもよいと言っていた。そこと徹底的にできる方向で詰めていただく。そう言っていただくならよく分かるが、全く考え方を無視したやり方だと思う。ぜひこの7法人と徹底した交渉をして、その結果をオープンにしてほしい。

(県)

ゴルフ場の存続につきましては、確かにアイデア募集時には7事業者から提案がありました。県の場合、どうしても正規借地料をお支払いいただかなければならない状況の中、7事業者からは難しいと話がありました。今回、ゴルフ場の提案も可能という形で募集要項を作成し、3者から提案がございましたが、いずれも、非常に採算が厳しいということで、実現は難しいという判断をしています。

(男性)

これは審査基準そのものに問題があるのではないかと。審査基準がゴルフ場存続を難しくしている要因になっているので、審査基準そのものから考えていかなければならないのではないかと。

(県)

審査基準について、事業者募集の概要の資料に記載がありますが、施設等の配置計画に50点と多く配点しています。広域避難場所をどう設定するのかという課題が大きいため、ここを厚く設定させていただいております。

(男性)

今、お金の面で落ちたと説明があったが、違うのではないかと。もう決まりましたという、その決定プロセスがおかしい。情報公開して納得させろと言っているが、それ

をしていない。

(男性)

この選定理由の中で、広域避難場所や津波避難場所の根拠や考え方がしっかりしているからこの事業者に決めましたということである。根拠や考え方がしっかりしていることを、今日はきちんと説明しなければならない会なのに、なぜそれができないのか。だから白紙撤回という話になる。

この事業提案の概要は、基本的なゾーニングであると思う。事業者が提案する基本計画になる。どこが避難場所としてしっかりしているのか、説明してほしい。私の感想では、クラスター火災が起きたとき、30mではこの人達は丸焼けになる。県が500m欲しいと言って、市が300mしかできないという話なら分かる。県は、市を指導する立場にあるのでないか。沢山の偉い先生が評価の物差しを作って、それで神奈川県は勝手に走るつもりなのか。よく考えてほしい。今日は、選定事業者をこうしたいが、これでよいかと住民に理解を求める会なのか、住民はこんなのは分からないと言っている。

(男性)

私たちの意見はどう反映されて、どう計画が変わったのか、それをはっきりしてくれないと、私達は話を聞きに集まっただけになる。それは約束してほしい。どんなメディアでもよいから、こういう意見があって、こうしましたという方針を回答してほしい。そうでなくてはここに来た意味がない。

(市)

先ほどお話に出たように、これでは議論にならないというお叱りをいただいております。先ほどお話したように、広域避難場所や津波避難の考え方をこれからしっかりと出していくこととなりますが、その前段での説明会は早いというご意見かもしれません。次のステップで、広域避難場所はどう考えるのか、様々な点をしっかり議論していきたいと思っております。

(男性)

それは違うと思う。選定理由として、これだけ考え方がしっかりしているから、この人にお金を払って事業計画を作ってもらおうということであればアグリー（同意）できる。しかし皆さんが納得していない。計画を、我々に呑めと言っているわけである。そうであれば、考え方がしっかりしているので、この事業者に頼むことにしたということをお皆が納得できるようにしてほしい。来年までかかってもよい。

納得できてはじめて選定が意味を持つ。納得していないのに、勝手にあなたたちが選定したと、市民税、県民税を払っている人達の前で言うことなのか。

(市)

市としては、市民のためにならない事業を進めることは考えていません。これから皆さんに、津波避難場所、広域避難場所、緑の話など、色々な話をしっかりお示ししてご意見をいただきたいと思っております。

(男性)

事業者についてアグリー（同意）しろということか。

(市)

事業者についてはまだ契約をしたわけではありません。

(男性)

県と市からプレゼンテーションがあったが、納得いくものがなかった。この計画はゼロに戻すと言ってもよいのではないか。

(県)

現在の状況ですが、県と茅ヶ崎協同の2者で優先交渉権者として、東急電鉄と電通のグループを選定した状況です。今回、事業者がしっかり考えて提案しているということで、今後具体的にどういうものにしていくのか、検討していきたいと考えています。

(男性)

遮断帯が30mでは黒焦げになってしまう。300mにしてもらえないか。あなたはどこに住んでいるか知らないが、私は隣に住んでいる。どこがしっかりしているのか分からない。納得できない。

(市)

本日は優先交渉権者、対話できる相手方が決まったというお知らせをしています。また、この後、細かい具体の話を、優先交渉権者を交えた中で、どういう考えで、どのように課題を解決していくのか、お話しする場を設けさせていただきたいと思えます。

(女性)

それはいつになるのか。

(市)

まだ4者でしっかりと話し合いができておりませんので、また場を設定させていただきたいと思えます。色々なご意見をいただいています。まだご発言が足りない方もいらっしゃるかと思えますが、また10日にも市役所で、説明会を開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上